

ナミテントウを利用した水わさびのアブラムシ類防除

【1 成果概要】

水わさびに寄生するアブラムシ優占種は、モモアカアブラムシ。
ナミテントウによる防除は、アブラムシ天敵の中で最も効率がよい。
アブラムシが葉当たり2頭以下である4月下旬に、
1,750～2,000頭/10aを放飼。

農薬を使わずに、アブラムシ類の防除ができます。

【2 効果】

- 1 省力的な防除が可能（防除器具が不要であるため）
- 2 生産者は労力の分散が可能
（防除作業時間がほとんど不要であるため、収穫・管理作業に集中できる。）
- 3 消費の拡大が期待できる（無農薬栽培）



図1 水わさび田施設内部

【3 留意事項】

- 1 注文は、1週間前に。
- 2 定植2～3年目の株に適用。
- 3 温度低下防止のため、施設は無解放。
- 4 ナミテントウは、約1ヶ月間生存。
- 5 次世代幼虫の発生はない。
- 6 夏期はクモに捕食される。

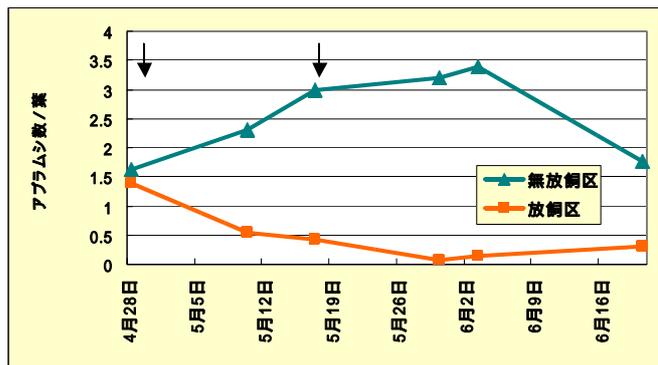


図2 ナミテントウ放飼によるアブラムシ密度抑制効果

【4 適応対象】

- 1 地帯
 - (1)水わさび栽培地域
 - (2)普及見込み面積 6ha
 - (3)水わさびでは登録農薬がないため、施設
栽培では本防除法が必ず必要になる。

2 対象者

- (1)アブラムシでお困りのあなたへ
- (2)テントウムシが大好きなあなたへ

【5 導入コスト】

1 資材費（見込み）

- (1)単価 7,000円 / 100頭 / 1カップ
 - (2)10a 当り 17～20カップ
 - (3)12.25万～14万円 / 10a
- ただし、今後さらに低コスト化を目指す。

2 入手方法

- (1)申込先・・・(株)アグリ総研の特約店
- (2)期限・・・毎週水曜日

担当研究室 病害虫部 病理昆虫研究室

〒024-0003 北上市成田20-1

TEL. 0197-68-4424 FAX. 0197-68-4316

